〈MADE IN ITALY〉

コーニックチェーン
取扱説明書

このたびはコーニックチェーンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
タイヤチェーンは消耗品ですので取扱いにより寿命に大きく影響致しますので、この取扱説明書をよく読んで、正しくご使用下さい。

〈お願い〉

●この取扱説明書に示されている⚠注意・⚠警告マークは取り付け、取扱いに関する安全上の注意事項ですので、必ず厳守して下さい。

●この取扱説明書に記載されていない取り付け及び使用方法は絶対に行わないで下さい。

●ご使用になる前に必ずテスト装着を行ってチェーンとタイヤが正しく装着できることを確認して下さい。

⚠ 注意・警告事項

●使用前の注意・警告事項

 タイヤチェーンにはサイズが数多くあります。タイヤが適合サイズであってもタイヤブランドや空気圧・磨耗量によって異なる場合があります。ご使用前にタイヤに装着して、適合しているかを確かめてください。タイヤに合わないチェーンは絶対使用しないでください。

 タイヤチェーンを装着する際は、他の交通の妨げにならない平坦な広い場所か指定された場所で行ってください。

 タイヤチェーンを『タイヤのすべり止め』以外には絶対使用しないでください。また、乾燥路面での使用も避けてください。

 チェーンの装着は必ず駆動輪に行って下さい。自動車の取扱説明書、タイヤチェーンの項目を充分ご覧ください。

 タイヤチェーンを装着して走行するとホイールカバー・ホイールにキズがつく場合があります。必ずホイールキャップは外してご使用下さい。

●走行中の注意・警告事項

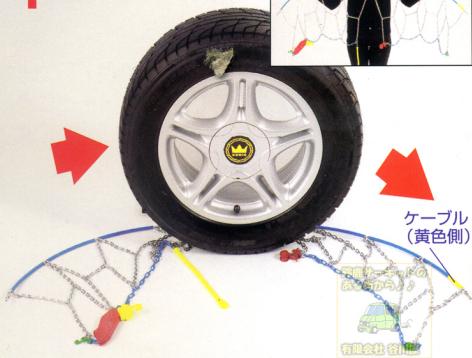
 走行中、異常な音・振動・衝撃などを感じた時は自動車を止め、タイヤチェーンのゆるみ・切断の有無を確かめてください。そのまま走行すると事故の原因となります。

 タイヤチェーンを装着しての急加速、急ブレーキは避けてください。また50km／hを越えるスピードは出さないでください。

 凍結路での急発進によってタイヤを空転させると、タイヤチェーンの破損の原因になりますので行わないでください。

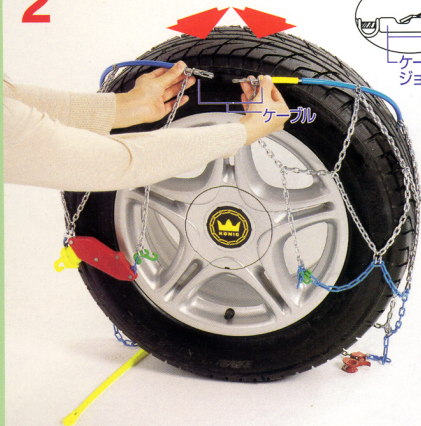
⚠注意 タイヤチェーンの磨耗が線径の50%を越えている時は、タイヤチェーンが切れる恐れがありますので使用しないでください。

【取付方法】

※各部の仕様はチェーンモデルによって

チェーンを広げてモツレがない事を確認します。ケーブルの黄色側を左から右へタイヤの裏側に通します（黄色のケーブルが右側にくるようになること）。

⚠注意

黄色のケーブルが左側にきた状態で装着を行うと、タイヤに傷をつける原因となります。

2

ケーブル
ジョイント

ケーブル

ケーブルの両側を持って、タイヤの上側でケーブルジョイントをかけます。

⚠注意

ケーブルジョイントが相手側金具に確実に挿入されているか確認して下さい。走行中チェーンが外れる原因となります。

3

サイドチェーンフック
サイドリンク

緑色のサイドチェーンフックにサイドリンクの青色のリンクをひっかけます。

4

OK
タイヤ裏側
NO
タイヤ裏側

ケーブルをタイヤの裏側側面まで移動（落とし込み）させます。

⚠ 注意

ケーブルをタイヤの接地面に残さないように確かめてください。チェーンが外れたり折損の原因となります。

5

ビーズ
ワイヤー
ストッパー

黄色のビーズワイヤーを赤色ストッパーの切れこみから通します。

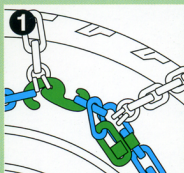
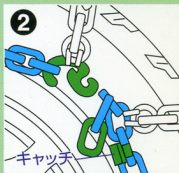
6

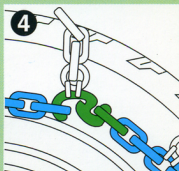
マジック
テンション
フック
ビーズ
ワイヤー

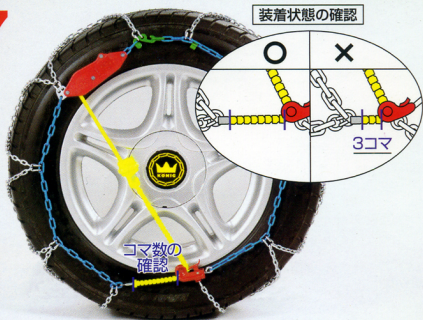
マジックテンションの黄色いフックを黄色のビーズワイヤー先端部のリングにかけます。

●装着したタイヤチェーンの確認

マジックテンション・ストッパー・ケーブルが路面に接地していないことを確認の上、チェーンのかかりがタイヤに均等になっていることを確認して下さい。

〈サイドリンクについて〉

通常の装着状態

緑のキャッチから緑色のサイドリンクを外します。

緑色のサイドチェーンフックに緑色のサイドリンクを引っかけます。

この状態でチェーンの装着を行ってください。

6の項目でマジックテンションのフックがビーズワイヤー先端部のリングまで届かない場合（チェーンが小さい状態）にはサイドリンクにてチェーンを多少大きい状態に調整することができます。

ゆっくりと300m程度走行後、一旦車を停車させ左右のタイヤチェーンの装着状態を確認します。ビーズワイヤーのつけね部分から赤色ストッパーまでのコマ数を確認して下さい。
この際ビーズワイヤーのコマ数が3コマ未満の場合はチェーンがゆるい場合がありますので、お買い上げいただきました販売店にて確認・交換してください。

⚠ 注意

チェーンがゆるい状態での走行は、チェーンが車両に干渉して内側のフェンダー等に傷をつけたり、チェーンの早期折損等の原因となりますので使用しないでください。

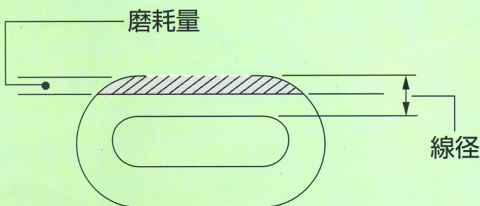
Mod. 19 835 351

【保管方法】

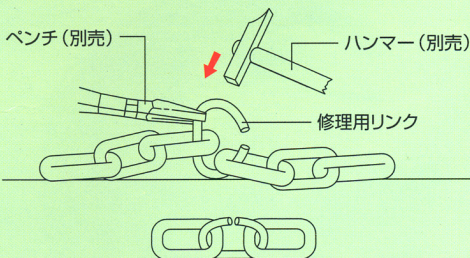
タイヤチェーン使用後はチェーンに付着した凍結防止剤等をお湯でよく洗い流し防錆油などをうすく塗って、直射日光の当たらない所で乾燥させてからケースに収納してください。
ケーブルを二重に巻き、ジョイントをつなげるとスムーズにケースに収納できます。

【補　償】

製造過程で生じた不良に対し、補償致します。
誤った取り付け方法、装着時、50km/h以上の走行による不良、ならびに乾燥路面での激しい磨耗を引き起こす極端な取り扱いによる不良は補償の対象外とします。明らかに製造上の欠陥が認められたときには、お買い求め後1年以内に限り新品と交換させていただきます。

【使用限度】

使用後にタイヤチェーンの破損・磨耗の程度を確認してください。タイヤチェーンの破損があったり、線径の磨耗が50%を越えている時はタイヤチェーンが切れる恐れがありますので使用しないでください。

【応急処置】

タイヤチェーンが切れた場合は、車体への損傷を防ぐため、付属品の修理用リンクでペンチやハンマー等（別売）を使用して応急処置して下さい。

①チェーンの折損部分に修理用リンクを開口部から通します。

②修理用リンクをペンチではさみ固定し、ハンマーなどを使って修理用リンクの開口部を閉じてください。

③修理用リンクがしっかり接合されていることを確認し、安全な場所まで走行してください。

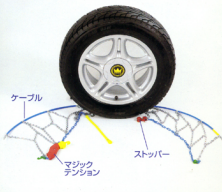
⚠注意

修理用リンクによる修理は一時的なものです。雪道脱出後は修理したタイヤチェーンを使用せず、新しいチェーンをお求め下さい。

【取り外し方法】

赤色ストッパーをタイヤ接地面近くにして車を停止します。

マジックテンションのフックとビーズワイヤーのリングを外し、赤色ストッパーのレバーを押しながら、黄色のビーズワイヤーを外します。

チェーンをタイヤの手前までずらしながらひっぱり、緑色のサイドチェーンフック・ケーブルジョイントを外し、チェーンを地面に置きます。

ケーブル・マジックテンション・ストッパーをタイヤで踏まないようにして車を移動し、チェーンを取り除きます。

コーニックは品質保証の
国際規格であるISO9002及び
ISO9001の認定を取得しています。

コーニックチェーンは、
ドイツ技術検査協会の認定を
取得しています。

コーニックチェーンは、
オーストリアの国家品質規格を
取得しています。

●製造元

MADE IN ITALY by KÖNIG: THULE S.p.A. 23847 MOLTENO (LC)

●発売元

中発販売株式会社

本社:〒457-0066 名古屋市南区鳴尾2丁目114番地
TEL(052)614-3662(代)　FAX(052)614-3366

〈営業所〉

札幌	☎(011)852-2215	横浜	☎(045)910-0622	高松	☎(087)815-3930
盛岡	☎(019)638-2711	静岡	☎(054)263-1105	岡山	☎(086)243-7211
仙台	☎(022)237-7371	名古屋	☎(052)614-3771	福岡	☎(092)585-8711
新潟	☎(025)243-8161	金沢	☎(076)237-1181	鹿児島	☎(099)268-5300
埼玉	☎(048)778-6710	大阪	☎(06)6385-2365		
千葉	☎(043)243-0861	広島	☎(082)831-5100		